

川崎スポーツ



11月14日(火) 15日(水) 16日(木)

マシエバラ的ケイリン生活杯 東京中日スポーツ杯争奪戦

FII

戦力互角で激戦は必至

マシエバラ的ケイリン生活杯 東京中日スポーツ杯争奪戦として開催される川崎競輪はナイターのF2戦。

後半の1、2班戦は西日本勢も参戦する。突出した存在は居ないが、各地区の軸がしっかりしているので激戦が予想される。

地元南関地区は大関祐也(千葉107期)―吉原友彦(神奈川83期)、東北ラインは相笠翔太(福島96期)―小橋明紀(青森73期)らがラインを形成。関東は隅田洋介(栃木107期)や高橋泰裕(埼玉107期)を目標に、伊藤一貴(栃木72期)が差し脚を発揮する。

西日本勢は新鋭の中川勝貴(福井109期)と差し脚確かな松村友和(大阪88期)の近畿コンビが強力。まだまだ波はあるが、西田将士(長崎105期)も優勝狙える力がある。

前半のチャレンジ戦は地元の能代谷元(神奈川111期)に、同じく同期の猪野泰介(福島111期)のルーキー対決。ベテラン浦山栄(東京72期)も負けじ劣らぬ力がある。

A級注目選手

吉原 友彦
神奈川83期



シリーズの主役は地元ホームバンクの吉原友彦。目標があればきつちりとは番手で追走をこなすが、位置が無ければ展開に応じて何でもこなすオールラウンダー。状況に応じた判断力にも長けており経験値も豊富。A級では上位の総合力があると言われている。来期はS級に復帰となるが、前回立川の実績が痛手となり来年後期のS級には黄信号が灯った。このホーム戦も含めて終盤戦は競走得点のアップを目指す戦いが続くことになりそうだ。

その吉原と共に南関勢の中核となるのが大関祐也。持ち味はダッシュ力だが、積極的なレースを増やすことで持久力がアップ。デビュー当初は苦戦が続いたものの、着実に力を付けて来期は初のS級に挑戦することが決まっている。またA級1、2班での優勝こそ無いが、いつ達成してもおかしくない実力がある。地元の吉原と共に南関両者での優勝争いに持ち込みたいところだ。

相笠 翔太 福島96期



相笠翔太は川崎バンクで抜群の走りを見せる。今年は6月に完全優勝を達成している。かなりの好成績を残している。近況は警戒される場面が増えているがバック数が減少しているが、すんなり駆けられるレース展開なら逃げ切る力も十分。経験豊富な小橋明紀や、ここ最近では差し脚が冴え渡っていない相沢政宏(宮城99期)も見逃せない存在。戦力が充実する北日本ライオンも優勝戦線に食い込みそう。関東勢を先導役は高橋泰裕と隅田洋介が中心となる。高橋はまだまだムラはあるし逃げて末を欠く場面も目立つが、スパーダッシュを生かしたまく

りやカマシの破壊力は高く格上が相手でも打ち破る素質は十分。プラない先行基本のスタイルで現状の打破を目指す。その2人を目標に戦うのは伊藤一貴。まだまだ鋭いキメ脚は健在で、直線伸びる当初では連日狙える一車だ。

中川 勝貴 福井109期



遠征勢の注目選手は中川勝貴。父は中川博文(福井61期)で競輪に身近な環境で育った中川は、高校時代もスプリント中心の自転車競技で活躍した。111期としてデビューしてからも順調に成長を続ける。そして迎えた前回の地元福井では、初こそ仕掛け損ねて見所ないレースに終わったが、準決勝は積極的攻めに着目し、目覚ましい好内容のレースを見せると、続く決勝もタイミング良く叩いて出た1周駆けで田中俊充(福井76期)を振り切る嬉しい1、2班戦初優勝を決めた。ダッシュ力に加えて、持久力も強化されているので今後の活躍が期待される。S級経験も多い松村友和にとっては頼もしい存在となり、この両者のゴール前勝負になることも十分にある。

西日本勢は西田将士の機動力が頼みとなりそう。多少の不安定さはあるが展開が向けば決勝で勝ち切る脚力は十分。バック数や逃げの決まり手は少ないが、先行力も数字以上に高い。前回落車の影響が無ければ優出可能な実力。



CR級注目選手

能代谷 元
神奈川111期



元レーサー(歳40期)引退を父に持った2世選手。一度は選手への道を断念したが再挑戦でデビューを果たした。持ち味は地脚を生かした先行力。前走の小田原では「予選は差されて2番手にならうけど、初めは3車のラインで独占するレースができた。それが凄く嬉しかったですね」とラインの大切さを重んじる内容あるレースを演じた。準決勝はラインで決められた橋本祐司(青森95期)の追走を振り切つて逃げ切り勝ち。ラインで決められなかった反省点を口にしてはいたが、戦毎に経験値を上げていく成長株だ。ベテランマーカー揃う地元勢にとっては頼もしい存在となりそう。

堅実なマークと差し脚で安定した走りを見せるのは畠山裕行(神奈川82期)。1、2班戦でも通用する実力の持ち主で、仮に目標が不発の展開になってもコース探して突っ込める脚がある。

浦山 栄
東京72期



ある。能代谷と共に優勝争う存在となる。

URBAN BANK かわさきケイリン

○	▲	×	注	◎	予想				
大関	高橋	小橋	中川	伊藤	相笠	松村	西田	吉原	名
祐也	泰裕	明紀	勝貴	一貴	翔太	友和	将士	友彦	氏
千葉	埼玉	青森	福井	栃木	福島	大阪	長崎	神奈川	府県
107	107	73	109	72	96	88	105	83	期別
A1	A1	A1	A2	A1	A1	A1	A1	A1	級別
7回	8回	3回	8回	3回	4回	5回	5回	5回	1着
1回	2回	1回	5回	3回	2回	3回	1回	4回	2着
5回	3回	2回	2回	7回	2回	7回	3回	4回	3着
11回	12回	14回	6回	5回	12回	4回	10回	8回	着外
0回	0回	1回	0回	0回	1回	1回	0回	0回	棄権
0回	1回	0回	0回	1回	0回	0回	1回	1回	失格
24回	26回	21回	21回	19回	21回	20回	20回	22回	出走回数
29.1%	30.7%	14.2%	38.0%	15.7%	19.0%	25.0%	25.0%	22.7%	勝率
33.3%	38.4%	19.0%	61.9%	31.5%	28.5%	40.0%	30.0%	40.9%	連対率
54.1%	50.0%	28.5%	71.4%	68.4%	38.0%	75.0%	45.0%	59.0%	3連対率
11回	6回	0回	5回	0回	1回	0回	3回	1回	H数
14回	10回	0回	8回	0回	2回	0回	4回	1回	B数
93.83	88.12	90.65	92.38	94.11	90.30	95.47	91.05	93.57	競走得点

マシエバラ的ケイリン生活杯 決勝想定メンバー